

## 第2回 中央公園・せせらぎ遊歩道ワークショップの開催について

### 「第2回 中央公園・せせらぎ遊歩道ワークショップ」を開催しました！

「キセラ川西ニュース第50号」では、第1回 中央公園・せせらぎ遊歩道ワークショップの様子をお知らせしましたが、引き続き、平成27年2月7日（土）、アステ川西6階のアステ市民プラザマルチスペース2において、第2回 中央公園・せせらぎ遊歩道ワークショップを開催しました。今回も前回と同じ25名の公募市民の方々にご参加いただきました。

第2回のワークショップでは「中央公園・せせらぎ遊歩道の具体的な利活用のイメージを膨らませよう！」をテーマに、上野信子先生（大阪市立大学）から地域の活力が出てくる公園活用の事例や取組のアイデアについてお話を伺いました。大変参考となるお話で講義後も意見交換が活発に行われました。

講演では、これから、どのように公園とかがかわるか、どのようにまちとつなげていくかという観点が必要であることを、事例などを通してわかりやすく教えていただきました。

参加者からも、「前回、話し合ったことが具体的な例を見させていただけるお話だった」など、非常に好評なご感想やご意見を多くいただくことができました。

次回からは、今回の講演内容を、今後の取り組みに活かし、具体的な形にしていきたいと思えます。

ワークショップの概要を次ページに示します。



ワークショップ全体の様子



上野先生の講演



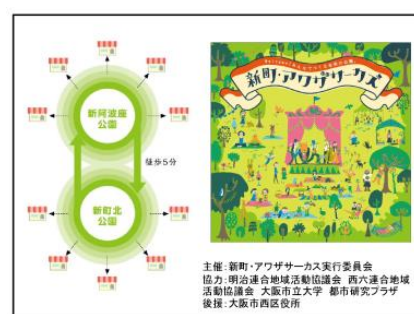
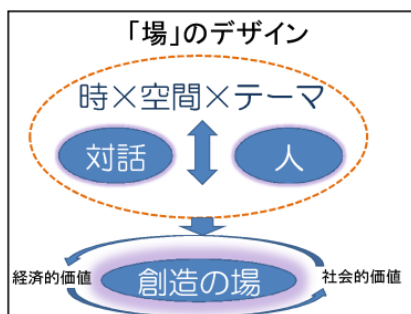
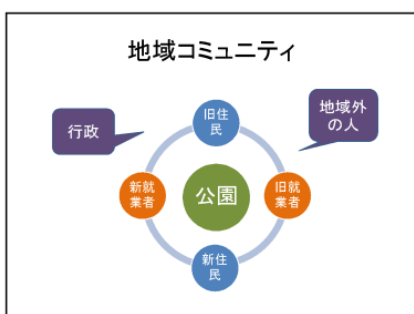
講演後の意見交換

# ワークショップの概要について

前頁に示すワークショップの概要を以下に示します。

## 当日の講義の概要

上野先生からの講義では、「地域コミュニティと公園」をテーマにして、実験的にイベントを地域参加で実施したり、コミュニティミーティングを実施して、管理運営のコアメンバーづくりを行っている事例を紹介していただきました。以下は、上野先生より資料提供いただきましたその当日のスライドの一部です。



阿波座公園の概要紹介



イベントを地域参加で実施



コミュニティミーティング

## 当日の参加者からのご意見

- ご講義いただいた活動やイベントができるインフラ整備は可能であり、今後は川西の特徴を出す公園づくりが大切であると考えている。川西市は縄文文化が続いており、文化遺産を発信するような公園づくりを行い、まちに愛着をもつところからやっていけるとよいと思う。
- 神戸の「みなとの森公園」では、企業も加わって市民参加で苗木を育てており、教育の場にもなっている。整備する段階から市民活動の場として発展していく仕組みがあるとよいなと思った。
- 市内各地で魅力的なイベントは実施されているがバラバラな感じがあり、いかにつないでいくかが公園の役目だと思う。既に住んでいる場所には愛着があるが、コミュニティがこれからの場所で愛着を持っていくにはどうしたらよいか。
- 「〇〇はいけません、〇〇はあかん」という公園が多い。中央公園はどのようになるのか。地域分権で行政は考えていると聞いている。

## 参加者のワークショップ後のご感想やご意見の一部を紹介します

- ・前回、話し合ったことが具体的な例を見させていただけるお話だった。
- ・場をつないでいくこと、企業や地域とつながること、広報など、もっと、具体的にどうするのか？どう動くのかをもっと知りたい。
- ・市内個々に点在する賑わい。安らぎの場を中央公園でいかに集約していくか。大きな命題を感じた。
- ・そういう意味では中央公園という名前、ネーミングにもう一工夫必要なのでは。
- ・新たなコミュニティを形成する今回のプロジェクトに対して、既存のコミュニティの元気な事例のお話しは多くのヒントがあった。
- ・子どもさんが一緒に色々な意見はあると思いますが子ども～高齢者が集まるのが公園なので、今日はその縮図といえるのでOK ではと思った。
- ・都市公園でのすばらしい活動は参考にしたいと思う。魅力的な公園づくり、課題は自然をどのようにまとめるか、皆様の総意が大切だと思う。
- ・川西の点在している、地域愛、情熱、etc をつなぐ公園であってほしいと思う。
- ・市民、三世代(老若男女)が集える場にしたい、北からも南からも手軽に通える場にして頂きたい。

## 中央北歴史コラムーちょっとふるさと自慢（32）ー

現在の川西池田駅や川西能勢口駅に鉄道が敷設され駅が設置されたことは、当時は野原であり、鉄道建設の目標からみて奇遇なことといえます。明治20年(1887年)4月に設立された「川辺馬車鉄道」は、川辺郡の猪名川に沿った南北の鉄道流通を意図し、尼崎～伊丹～小戸（池田方面）、そして小浜～川面を計画路線としていました。将来は篠山～福知山～舞鶴を結ぶ計画となり、これが国策としての軍事的な色合いが強化され福知山線となっていきました。一方の明治40年10月設立の「箕面有馬電気軌道」は、予定路線には当初計画の梅田～池田間の他、池田～宝塚～有馬間の延伸線と箕面への支線が含まれていました。「能勢電気軌道」は、能勢妙見の参詣客輸送と、沿線で産出される三白（酒、米、寒天）・三黒（黒牛、栗、炭）などの特産物の輸送を目的として明治41年(1908年)5月に設立されています。しかし、何れも沿線の人口や交通需要が小さく、経営は困難な状態からのスタートでした。

明治の殖産興業の時代背景ではありますが、この旺盛な投資意欲は、猪名川流域をなす川辺郡の豊かな風土と人の活発な気風に裏打ちされていると思われまふ。さらに、尼崎・大阪といった産業集積の形成地の郊外であり、北部への交通の要衝だったこともあると思われまふ。

ところが、日本の国力の伸展に伴う都市圏の拡大は、沿線開発の進行や、特に戦後の高度経済成長は急激な都市膨張をきたし、駅を中心に、過密・密集が深刻になり、郊外山間地に及びました。また、各地の住宅を求めた人口移動と郊外居住の発生は、これまでの地域のなりわいや意識を押し倒す勢いとなり、大きな地域の変質を余儀なくしてきました。今日はすでに人口減少社会に転じ、人口の移動も停滞し、そのまま高齢化していくこの‘塊’を問題ととらえるだけか、資源としてとらえられるかが、大きく地域の将来展望として問われています。



## 川西市中央北地区まちづくり協議会 町名変更検討部会の協議経過について

本会は、中央北地区特定土地区画整理事業区域内の町名を変更するか否か等の検討を行い、部会案を作成することを目的とし、昨年7月にまちづくり協議会内に設置されました。

また、この目的達成のため、町名変更の是非、変更する場合はその範囲及び新たな町名に関して（1）権利者等の意向把握、（2）権利者等への情報提供、（3）他市事例等の調査研究、の事業を行うこととなっており、現在まで6回の部会を開催し、住居表示と町名変更の概要や制度、手続等について確認し、現在は、町名変更に関する意識調査（アンケート調査）についての調査対象範囲、アンケート内容、アンケート依頼文書の内容等について協議されています。

なお本会は、原則として、毎月第1火曜日の17時30分から開催の計画検討委員会終了後に、引き続き開催し、部会員により活発な協議が行われていますが、部会員以外にまちづくり協議会員のどなたでも出席し、意見を述べる事が出来ますので（但し、議決権はありません。）、ご興味のある方は、是非ご出席ください。



### 第105回 川西市中央北地区まちづくり協議会 計画検討委員会の開催お知らせ（協議会員どなたでも参加できます）

日時：平成27年4月7日(火) 17:30～ 場所：市役所地下1階 B02会議室

### 第7回 まちづくり協議会 町名変更検討部会 の開催お知らせ

日時：平成27年4月7日(火) 上記終了後 場所：市役所地下1階 B02会議室

建築物の建築などを行う場合、土地区画整理法第76条許可申請・地区計画の届出が必要です。

また、「中央北まちづくり指針」や「低炭素まちづくり計画」等に基づいた建築計画であるかを確認するため、事前に「建築行為等の手続条例」に基づく協議が必要です。（詳しくは、地区整備課 072-740-1207へ）

権利者が死亡され名義変更されていない方や、権利の移動があった場合、住所氏名の変更があった場合はご連絡を。

上記の申告等や「阪神間都市計画事業中央北地区特定土地区画整理事業」について質問などがございましたらご連絡ください。

川西市 中央北整備部 中央北推進室 地区推進課

TEL：072-740-1214 FAX：072-740-1330

日時：午前9時～午後5時半（ただし、土曜・日曜・祝日は除きます）

HP：<http://www.city.kawanishi.hyogo.jp/machi/cyuoukitaseibi/index.html>